

大西さんとは大学院が同学年であり、また大西さんは京都大学、私は大阪市立大学と同じ関西地区だったこともあり、大学院生の頃から交流がありました。大西さんは院生時代、堀内先生(京大)のクラスターグループに属されており、私と研究分野が近かったこともあり研究会や学会のセッションでもよくお会いしました。また、M2の秋からD1の秋までの1年間、上記京大クラスターグループのゼミに参加させて頂き、大西さんとは毎週顔を合わせていました。さらに、博士終了後のOD1年目には大阪大学核物理研究センターにて1年間一緒に過ごしました。核物理センター裏のテニスコートで一緒にテニスをしたことも記憶にあります。その後も大西さんとの交流は続き、大西さんは93年の春に北大(理)に着任されましたが、その2年後の95年に私も北大(情報処理教育センター)に着任し、北大核データグループ(JCPRG)で一緒に活動することになりました。北大から京大に転出された後はあまりお会いする機会が少なくなっていました。ご活躍はよく耳にしておりました。ご生前の功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

平林 義治 (北海道大学情報基盤センター)